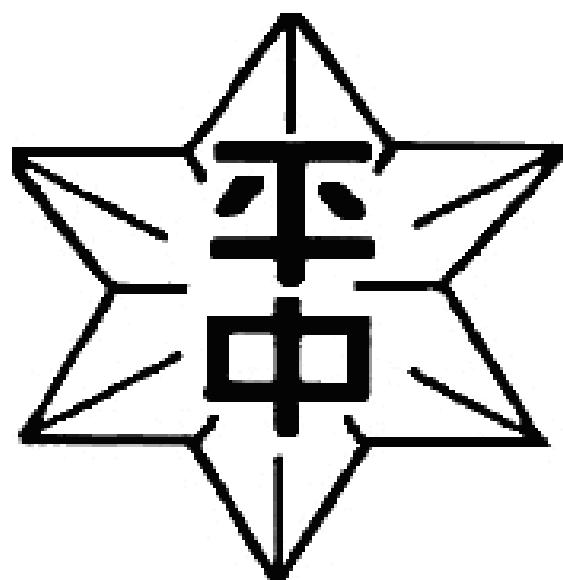


令和7年度

運営に関する計画

最終評価



大阪市立平野中学校

令和8年3月

大阪市立平野中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は社会に貢献できる生徒の育成を目指し、「あいさつをする、他人の話を聴く、ルールやマナーを守る」等の指導に継続して取り組んでいる。また、教職員が協力・連携し、毎日の登下校指導や生活指導、授業規律を徹底することで、落ち着いた学びの場を維持している。経済状況の悪化や家庭状況により生活が厳しい生徒もいる中、生徒は学習や部活動に前向きに取り組んでいる。しかし、自分の将来や学習に対する目標意識が低い生徒が多く、「全国学力・学習状況調査」、「大阪府チャレンジテスト」等の結果を分析すると、学力の2極化が顕著である。数年前から家庭学習の定着を図る取組を継続して行っているものの、家庭で主体的に学習する生徒の割合は増えておらず、これまでの取組の成果が表れていない。

○学級活動・生徒委員会活動・部活動等の活性化と充実を図り、部活動や生徒委員会に積極的に参加する生徒の育成を通して自己肯定感を高める。

○ICT 機器を授業や家庭で活用し、生徒の個に応じた学びを保障するとともに、家庭学習の定着を図る取組が必要である。

○各教科において生徒の協働学習を推進し、言語活動によって「知識・技能」を活用し「読解力」、「思考力」、「表現力」を育成するための授業改善が必要である。また、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った実践交流や研修等を実施する。

中期目標 R6.4.1 一部改訂

【安心・安全な教育の推進】

- ①令和7年度末の校内調査における、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的回答割合→90%以上にする
- ②令和7年度末の校内調査における、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、**最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合**→85%以上にする
- ③令和7年度末の不登校生徒の在籍比率→8%を下回る。
- ④令和7年度末の校内調査における、「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する割合→95%以上にする
- ⑤令和7年度末の校内調査における、「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する割合→95%以上にする
- ⑥令和7年度末の校内調査における、「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的回答割合→77%以上にする
- ⑦令和7年度末の校内調査における、「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的回答割合→70%以上にする

【未来を切り拓く学力体力の向上】

- ①令和7年度の全国学力・学習状況等調査の国語・数学の対全国比→それぞれ 1.0 以上にする
- ②令和7年度の大阪市英語力調査で、CEFR A1 レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合→55%以上
- ③令和7年度末の校内調査における、「授業や学級活動で話し合うことで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」の項目について、**最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合**→32%以上にする
- ④令和7年度の全国体力運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比→男女ともに 1.0 以上にする
- ⑤令和7年度末の校内調査における、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して**最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合**→50%以上にする
- ⑥令和7年度末の校内調査における、「朝食を毎日食べていますか」・「毎日、同じくらいの時刻に寝て同じくらいの時間に起きていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合→それぞれ 88%以上にする

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日→50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）
- ②教員の勤務時間の上限
基準1（1か月の時間外勤務時間が45時間以下で、1年間の時間外勤務時間が360時間以下）の教職員割合→40%以上
基準2（1か月の時間外勤務時間が45時間を超える月が1年間に6月以下で、1年間の時間外勤務時間が720時間以下）の教職員の割合→65%以上にする
- ③令和7年度末の校内調査における、「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える生徒の割合→70%以上にする
- ④令和7年度末の保護者アンケートにおける「学校の様子をよく知ることができる」の項目について、肯定的に回答した保護者の割合→89%以上にする

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の推進】 ①～⑦は全市共通目標より選択 ⑧・⑨は学校独自目標

①年度末の校内調査における、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的回答割合→**90%以上**にする

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
86.4	89.4	88.9	92.2

(R6 大阪市実績値 85.9%)

②年度末の校内調査における、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、**最も肯定的な**「そう思う」と回答する生徒の割合を**85%以上**にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
79.8	78.0	79.1	80.8

(R6 大阪市実績値 82.8%)

③年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を**前年度より減少**させる。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
5.5	8.5	7.4	8.4(2期20日)

(R6 大阪市実績値 9.55%)

④「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する割合→**98%以上**にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
98.2	98.1	98.6	98.1

(R6 大阪市実績値 97.7%)

⑤年度末の校内調査における、「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合→**98%以上**にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
97.5	98.1	99.4	98.4

(R6 大阪市実績値 98.3%)

⑥年度末の校内調査における、「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する割合→**80%以上**にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
76.2(3年)	80.2(3年)	82.1	83.3

(R6 大阪市実績値 80.7%)

⑦年度末の校内調査における、「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的回答割合→**70%以上**にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
61.1	65.0	73.3	71.0

(R6 大阪市実績値 82.8%)

⑧年度末の校内調査における、「学校行事や学年取り組みにおいて、自分の役割を自覚し、積極的に行動している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合→**88%以上**にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
88.4	89.4	94.9	94.0

⑨年度末の校内調査における、「学校では、命を大切にし、平和と人権を尊重する心と態度を学ぶことができた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合→**97%以上**にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
97.7	99.2	98.9	98.7

【未来を切り拓く学力体力の向上】 ①～⑥は全市共通目標より選択

①中学生チャレンジテストにおける国語・数学・英語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も**前年度より0.02ポイント向上**させる。

令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
国語	0.94 (3年)	国語	0.98 (3年)	国語	0.94 (3年)	国語	0.89 (3年)
	0.91 (2年)		0.95 (2年)		0.91 (2年)		0.96 (2年)
	0.95 (1年)		0.91 (1年)		0.93 (1年)		0.84 (1年)
数学	0.95 (3年)	数学	1.00 (3年)	数学	0.96 (3年)	数学	0.90 (3年)
	1.03 (2年)		0.95 (2年)		0.83 (2年)		0.93 (2年)
	0.97 (1年)		0.92 (1年)		0.93 (1年)		0.87 (1年)
英語	0.94 (3年)	英語	0.95 (3年)	英語	0.92 (3年)	英語	0.92 (3年)
	0.99 (2年)		0.91 (2年)		0.93 (2年)		0.93 (2年)
	0.92 (1年)		0.95 (1年)		0.90 (1年)		0.88 (1年)

②大阪市英語力調査における、CEFR A1レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)→**55%以上**にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
52.5	51.9	41.6	50.0

(R6 大阪市実績値 57.5%)

③年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について**最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合**→**40%以上**にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
37.4	38.2	44.3	52.1

(R6 大阪市実績値 39.2%)

④全国体力運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比→**男女ともに1.0以上**にする

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
男子 1.12	男子 0.87	男子 0.92	男子 0.92
女子 1.06	女子 0.90	女子 0.90	女子 0.99

R6 大阪市実績値

男子 0.98

女子 1.00

⑤年度末の校内調査における、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して**最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合**→**57%以上**にする

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
55.6	56.0	59.4	57.8

(R6 大阪市実績値 68.5%)

⑥年度末の校内調査における、「朝食を毎日食べていますか」・「毎日、同じくらいの時刻に寝て同じくらいの時間に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合→それぞれ**89%以上**にする

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
朝食：91.2(3年)	朝食：89.5(3年)	朝食：90.1	朝食： 88.9
起床：89.4	起床：90.7	就寝・起床：87.1	就寝・起床： 85.6

R6 大阪市実績値

朝食 89.1%

就寝・起床 81.8%

【**学びを支える教育環境の充実**】 ①～③は全市共通目標より選択 ④は学校独自目標

①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日→**50%以上**にする

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	(R6 大阪市実績値 14.4%)
—	—	34.2	25.5(1月末)	

②教員の勤務時間の上限

基準1（1か月の時間外勤務時間が45時間以下で、1年間の時間外勤務時間が360時間以下）の教職員割合→**40%以上**
 基準2（1か月の時間外勤務時間が45時間を超える月が1年間に6月以下で、1年間の時間外勤務時間が720時間以下等）の教職員の割合→**65%以上**にする

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年(1月末)
基準1：33.33	基準1：36.84	基準1：29.73	基準1： 23.53
基準2：58.97	基準2：63.16	基準2：64.86	基準2： 55.88

③年度末の校内調査における、「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える生徒の割合→70%以上にする

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	(R6 大阪市実績値 69.5%)
70.4	69.8	66.1	65.6	

④年度末の保護者アンケートにおける「学校の様子をよく知ることができる」の項目について、肯定的に回答した保護者の割合→**89%以上**にする

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
87.6	90.6	89.9	91.3

3 本年度の自己評価結果の総括

様々な学校行事や学年行事の取組を通して、生徒の主体的な取り組みが行われたことにより、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めることができた。しかしその一方で、不登校生徒の割合や、中学校入学後の新たな不登校生徒が増えている。不登校の要因の一つに不安が挙げられるが、その不安は学習や人間関係の構築に起因するものが多いと考える。「不登校はどの子にも起こりうるもの」という視点に立って、「心の天気」や教育相談で生徒の状況把握を行っているが、日々の生徒との対話を通してその言動の変化に気づき迅速に対応することも大切である。今年度も不登校の状況にある生徒の保護者に教育支援センターや区役所等の支援ルームを紹介し、通所ができるようになった生徒はいるが、学校に登校できるようになるケースは少ない。3年生になると進路選択・決定により一部生徒に不登校の改善がみられるが、1, 2年次に不登校の状況が大きく改善されるケースはほとんどない。このような不登校の状況にある生徒が学校とつながり、個に応じた学びを保障する観点から、今後は学校内に学びの場（別室）をつくり、不登校の克服・改善を図っていく必要がある。

学力向上においては、全国学力・学習状況調査や中学生チャレンジテストの結果を経年で比較すると、全国や府の平均正答率を下回っているが、僅差となる教科もある。今後も ①落ち着いた学習環境の維持 ②教員の授業力向上 ③生徒の学習意欲の向上と学力の定着 に向けて取り組んでいく必要がある。特に言語活動の素地となる「知識・理解」を疎かにすることなく、学習につまずきのある生徒の基礎基本の定着に向けても授業形態や教材のさらなる工夫が必要である。

「心の天気」の入力・確認が習慣化され、校内における毎日の学習者端末の活用率は70%を超えるが、80%に達するには至らない日も増えている。授業中の学習者端末の活用頻度は教員により差があり、家庭への持ち帰りも3学期より実施しているが、家庭学習強化週間や週末または長期休業中に家庭で学習者端末を用いて学習できるよう工夫する必要がある。

教員の業務負担の軽減において校務支援パソコンは有効ではあるが、掲示板や個人連絡の情報が多く、連絡や情報の共有が徹底できていない事がある。校務部会や各委員会等からの連絡を校務支援パソコンで行い業務軽減を図っている教員は増えているが、全教員でみると活用はそれほど進んでいないのが現状である。アンケートの集約や採点等に各種機能やアプリ等を効果的に活用することで、業務負担の軽減や時間外勤務の短縮において改善の余地があると考えられる。

大阪市立平野中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標

達成
状況

【安心・安全な教育の推進】①～⑦は全市共通目標より選択 ⑧・⑨は学校独自目標

①年度末の校内調査における、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的回答割合→90%以上にする

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
86.4	89.4	88.9	92.2

(R6 大阪市実績値 85.95%)

②年度末の校内調査における、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
79.8	78.0	79.1	80.8

(R6 大阪市実績値 82.8%)

③年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
5.5	8.5	7.4	8.4(2期20日)

(R6 大阪市実績値 9.55%)

④「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する割合→98%以上にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
98.2	98.1	98.6	98.1

(R6 大阪市実績値 97.7%)

⑤年度末の校内調査における、「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合→98%以上にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
97.5	98.1	99.4	98.4

(R6 大阪市実績値 98.3%)

⑥年度末の校内調査における、「自分には良いところがありますか」に対して、肯定的に回答する割合→80%以上にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
76.2(3年)	80.2(3年)	82.1	83.3

(R6 大阪市実績値 80.7%)

⑦年度末の校内調査における、「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的回答割合→70%以上にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
61.1	65.0	73.3	71.0

(R6 大阪市実績値 82.8%)

⑧年度末の校内調査における、「学校行事や学年取り組みにおいて、自分の役割を自覚し、積極的に行動している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合→88%以上にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
88.4	89.4	94.9	94.0

⑨年度末の校内調査における、「学校では、命を大切にし、平和と人権を尊重する心と態度を学ぶことができた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合→97%以上にする。

令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
97.7	99.2	98.9	98.7

B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>生徒の安全・安心を第一に考え、より良い措置を行うよう努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の共通理解を図るため2週に1度、主任会を開き、各学年の生徒の実態を共通理解する。 ・タブレット端末の「心とからだの天気」を毎日活用し、実態の把握に努める。 ・日常生活や行事において、生徒主体の活動を昨年度より増やす。 	B
<p>取組内容②【施策1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>生徒が安心して学校生活を送れるよう、学校全体でいじめの防止と早期発見に取り組む。また、いじめが疑われる場合は、迅速かつ適切にこれに対処し、さらにその再発防止に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に、「中学校いじめ防止基本方針」をもとに教職員の共通理解を図る。 ・学期に1度、生徒にいじめについて考える機会を設ける。 ・年に3回、いじめアンケートを実施し、早期発見、早期対処を徹底する。 	B
<p>取組内容③【施策1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>長期欠席児童生徒（欠席日数30日以上）について、調査を行い、状況の把握をするとともに、生徒との教育相談や家庭訪問など、普段から生活状況も含めて捉えられるよう取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、職員会議にて生徒の個別状況について把握し、全教職員で共通理解を図る。 ・年に3回、教育相談週間を設けて、子どもの心のケアに努める。 ・月に1回、学校生活アンケートを実施し、子どもの心のケアに努める。 	B
<p>取組内容④【施策1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>落ち着いた学びの場を維持する</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションや日常で、約束やルール、マナーの確認を行う。 ・毎週、全校集会・学年集会で、風紀委員を中心として風紀点検活動を行う。 ・生徒会を中心として、現状にあった約束やルール・マナーについて考える活動を行う。 	A
<p>取組内容⑤【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>スマホの危険性や依存性などを生徒に理解させ適切な使い方が出来るような取り組みをおこなう。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年次は校内、第2学年次は警察、第3学年次はスマホ会社によるスマホ安全教室を行い、適切な使い方を学習する。 	B

<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS によるトラブルが発生した場合は、事案の内容に基づいて適切な指導を行う。 ・ 年に2回以上、学年集会時にスマホの使い方についての指導をする。 	
<p>取組内容⑥【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>学級活動・生徒委員会活動・部活動等の活性化と充実を図る</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の活動に対し、日常、集会、通信等で紹介し、集団で共有していく。 ・ 生徒の良いところを積極的に気づいていく。 ・ 生徒一人ひとりの個性を捉えて、活動に積極的に参加できる内容を模索していく。 	A
<p>取組内容⑦【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>将来に見通しを持たせる活動を積極的に行う</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生で職業講話などを通して、職業について知る。 ・ 2年生で職場体験などを通して、仕事の良さやきびしさを理解する。 ・ 3年生で進路指導や面接指導などを通して、具体的な将来に見通しをもち、個々にあった進路選択をする。 	B
<p>取組内容⑧【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>学校行事や学年取組について、生徒が主体的に運営や企画に携わり取り組むよう指導する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月に1回、生徒専門委員会を開き、委員会で出た意見などを生徒議会で共有する。 ・ 行事や取り組みごとに、生徒実行委員会などを発足する。 ・ 行事後に、振り返りを行い、反省と成果を生徒の育成に反映する。 	A
<p>取組内容⑨【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>大阪府が長年培ってきた人権教育の実践を踏まえ、差別を許さず共に生きる社会への実現に向けて、生徒・教職員の人権意識の向上に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平野区人権教育講演会、ならびに平野区人権教育実践交流会への教職員の参加を促す。 ・ 各教育部会、それぞれの発案による授業を年間に最低1テーマ行い、生徒に豊かな人権感覚を身につけさせる。 ・ いじめの疑いのある事案や SNS によるトラブルが発生した場合は、その事案に基づいて人権教育を行う。 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①では、2週に一度、必要であれば週に一度主任会を行い、生徒の情報交換を通して次の見通しをたてた。「心とからだの天気」を活用して、実態の把握に努める1つのツールとした。2年生・1年生は、入力率は高いが、3年生は低い状況で改善が必要であった。また「相談機能」の活用を図り、数件の利用があった。各学年の生徒の現状を踏まえ、主に行事において生徒主体の実行委員会を発足させて、生徒主体の活動を学年が上がるごとに増やせるようにした。</p> <p>取組内容②では、2学期には生徒会の自主的な啓発活動を行うことができ、生徒が安心して学校生活を送ることの考えを深めることができた。定期的なアンケート活動等により、いじめの早期発見につなげ、迅速に対応してきた。</p> <p>取組内容③では、全教員での共通理解を図りながら、個別での相談活動を充実させている。不登校生に対して個別の対応の仕方を試み、少しずつであるがその生徒を対応することができるようになってきた。また、登校できる環境づくりにも配慮してきた。</p>	

取組内容④では、学校全体に一定の落ち着きがあり、学習環境が整っている状況である。学校生活の約束について生徒会や風紀委員、生徒議会で考えを深め、一部変更を行い運用することができた。また、普段の生活におけるルールやマナーを生徒に考えさせたり、生徒が全体に声掛けしたりする機会が増えてきた。

取組内容⑤では、各学年で SNS に関する事案が発生しており、事案があるごとに対応した。1 年生、2 年生においては学年や学級において適切なスマホ利用の仕方や SNS トラブル未然防止の取り組みを行ったり、発生した場合、必要であれば学年集会や全校集会等で注意喚起を行ってきた。専門性を深めるために外部機関との連携も求めていく必要がある。

取組内容⑥では、学級通信を発行している担任が昨年よりもさらに多く、ほかにも学年通信等、各活動にて生徒の活動を集団で共有することができた。そして継続的に生徒の良いところや成果を発表し、生徒自身の自己肯定感を高めたり、集団の意欲向上の手段となった。

持たせる活動(1 年生・職業講和、2 年生・職場体験、3 年生・進路学習など)を、各学年、2 学期、3 学期に行ってきた。活動の際には、自分の興味や関心のあるものから考えさせるようにしてきた。ただ残念ながら本校は他校に比べて、「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的回答割合が低かった。

取組内容⑧では、生徒専門委員会や生徒議会を定期的に開催して、行事や取組の活動を支えた。学年行事では、学級代表や有志が中心となって考える機会、話し合う機会が増えつつあり、主体的な活動ができるように支援した。今後、さらに生徒に考えさせ、運営させていく機会を求めていく。

取組内容⑨では、教員の人権講演会の参加率は高く、教員の人権感覚を研ぎすませてきた。生徒の学習機会として、1 年は平和学習や特別支援教育、2 年は平和学習や多文化共生学習、3 年生は部落問題学習や性教育、特別支援教育に取り組んできた。

次年度への改善点

取組内容①では、「心とからだの天気」の入力率が学年によってばらつきがあり、「相談機能」の活用もあわせて周知徹底、タブレット管理も含めて改善をしていく必要がある。

取組内容②では、未然防止や早期発見、解決のためにも生徒と教員の信頼関係づくりや、電話連絡や家庭訪問をこまめに行って、その保護者との関係づくりは課題である。事実確認を正確に行うことで早期解決に努めていきたい。

取組内容③では、不登校生に対して個別の対応の仕方をいろいろ試み、対応する機会をさらに増やしていかねばならない。また担任任せにならずに、学年の教員などがその生徒と関っていける機会を早急に求めていく必要がある。

取組内容④では、規則正しい生活習慣や校外でのマナー、モラルについては引き続き学校生活を通じて取り組む必要がある。学年によって指導や取り組み方にばらつきがないように足並みを全体でそろえて取り組みたい。

取組内容⑤では、SNS に関する事案は発生し続けており、適宜注意喚起を行い、未然防止活動に取り組むとともに、保護者への啓発活動、また専門性を深めるために外部機関との連携も求めていきたい。

取組内容⑥では、集団になじめない生徒に対して、生徒同士のつながりを大切にしながら、いろいろな出来事を可視化しながら学校活動に積極的に参加できる活動を模索する必要がある。

取組内容⑦では、活動内容をさらに深め考えられるようにし、将来について見通しが少しでも持たせられるよう取り組んでいきたい。

取組内容⑧では、今後、さらに生徒に考えさせ、運営させていく機会を求めていく。

取組内容⑨では、定期的実施される人権講演会、交流会を通じて教員の人権学習の向上を図る。また、いじめや SNS トラブルで人権を無視した行為がまだまだ目立つため、生徒の実態に合わせた学習や取り組みを提案し、さらなる人権感覚の向上を努める。

大阪市立平野中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成 状況																																																																																													
<p>【未来を切り拓く学力体力の向上】 全市共通目標より選択</p> <p>①中学生チャレンジテストにおける国語・数学・英語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 4 年</th> <th>令和 5 年</th> <th>令和 6 年</th> <th>令和 7 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国語</td> <td>0.94 (3 年)</td> <td>0.98 (3 年)</td> <td>国語 → 0.94 (3 年)</td> <td>国語 → 0.89 (3 年)</td> </tr> <tr> <td>0.91 (2 年)</td> <td>0.95 (2 年)</td> <td>→ 0.91 (2 年)</td> <td>→ 0.96 (2 年)</td> </tr> <tr> <td>0.95 (1 年)</td> <td>0.91 (1 年)</td> <td>→ 0.93 (1 年)</td> <td>→ 0.84 (1 年)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">数学</td> <td>0.95 (3 年)</td> <td>数学 1.00 (3 年)</td> <td>数学 → 0.96 (3 年)</td> <td>数学 → 0.90 (3 年)</td> </tr> <tr> <td>1.03 (2 年)</td> <td>0.95 (2 年)</td> <td>→ 0.83 (2 年)</td> <td>→ 0.93 (2 年)</td> </tr> <tr> <td>0.97 (1 年)</td> <td>0.92 (1 年)</td> <td>→ 0.93 (1 年)</td> <td>→ 0.87 (1 年)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">英語</td> <td>0.94 (3 年)</td> <td>英語 0.95 (3 年)</td> <td>英語 → 0.92 (3 年)</td> <td>英語 → 0.92 (3 年)</td> </tr> <tr> <td>0.99 (2 年)</td> <td>0.91 (2 年)</td> <td>→ 0.93 (2 年)</td> <td>→ 0.93 (2 年)</td> </tr> <tr> <td>0.92 (1 年)</td> <td>0.95 (1 年)</td> <td>→ 0.90 (1 年)</td> <td>→ 0.88 (1 年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②大阪市英語力調査における、CEFR A1 レベル (英検 3 級) 相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合 (4 技能) → 55% 以上にする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和 4 年</th> <th>令和 5 年</th> <th>令和 6 年</th> <th>令和 7 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.5</td> <td>51.9</td> <td>41.6</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R6 大阪市実績値 57.5%)</p> <p>③年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合 → 40% 以上にする</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和 4 年</th> <th>令和 5 年</th> <th>令和 6 年</th> <th>令和 7 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.4</td> <td>38.2</td> <td>44.3</td> <td>52.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R6 大阪市実績値 39.2%)</p> <p>④全国体力運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比 → 男女ともに 1.0 以上にする</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和 4 年</th> <th>令和 5 年</th> <th>令和 6 年</th> <th>令和 7 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子 1.12</td> <td>男子 0.87</td> <td>男子 0.92</td> <td>男子 0.92</td> </tr> <tr> <td>女子 1.06</td> <td>女子 0.90</td> <td>女子 0.90</td> <td>女子 0.99</td> </tr> </tbody> </table> <p>R6 大阪市実績値 男子 0.98 女子 1.00</p> <p>⑤年度末の校内調査における、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合 → 57% 以上にする</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和 4 年</th> <th>令和 5 年</th> <th>令和 6 年</th> <th>令和 7 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55.6</td> <td>56.0</td> <td>59.4</td> <td>57.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(R6 大阪市実績値 68.5%)</p> <p>⑥令和 7 年度末の校内調査における、「朝食を毎日食べていますか」・「毎日、同じくらいの時刻に寝て同じくらいの時間に起きていますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合 → それぞれ 89% 以上にする</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和 4 年</th> <th>令和 5 年</th> <th>令和 6 年</th> <th>令和 7 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝食 : 91.2 (3 年)</td> <td>朝食 : 89.5 (3 年)</td> <td>朝食 : 90.1</td> <td>朝食 : 88.9</td> </tr> <tr> <td>起床 : 89.4</td> <td>起床 : 90.7</td> <td>就寝・起床 : 87.1</td> <td>就寝・起床 : 85.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>R6 大阪市実績値 朝食 89.1% 就寝・起床 81.8%</p>				令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	国語	0.94 (3 年)	0.98 (3 年)	国語 → 0.94 (3 年)	国語 → 0.89 (3 年)	0.91 (2 年)	0.95 (2 年)	→ 0.91 (2 年)	→ 0.96 (2 年)	0.95 (1 年)	0.91 (1 年)	→ 0.93 (1 年)	→ 0.84 (1 年)	数学	0.95 (3 年)	数学 1.00 (3 年)	数学 → 0.96 (3 年)	数学 → 0.90 (3 年)	1.03 (2 年)	0.95 (2 年)	→ 0.83 (2 年)	→ 0.93 (2 年)	0.97 (1 年)	0.92 (1 年)	→ 0.93 (1 年)	→ 0.87 (1 年)	英語	0.94 (3 年)	英語 0.95 (3 年)	英語 → 0.92 (3 年)	英語 → 0.92 (3 年)	0.99 (2 年)	0.91 (2 年)	→ 0.93 (2 年)	→ 0.93 (2 年)	0.92 (1 年)	0.95 (1 年)	→ 0.90 (1 年)	→ 0.88 (1 年)	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	52.5	51.9	41.6	50.0	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	37.4	38.2	44.3	52.1	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	男子 1.12	男子 0.87	男子 0.92	男子 0.92	女子 1.06	女子 0.90	女子 0.90	女子 0.99	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	55.6	56.0	59.4	57.8	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	朝食 : 91.2 (3 年)	朝食 : 89.5 (3 年)	朝食 : 90.1	朝食 : 88.9	起床 : 89.4	起床 : 90.7	就寝・起床 : 87.1	就寝・起床 : 85.6	B
	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年																																																																																											
国語	0.94 (3 年)	0.98 (3 年)	国語 → 0.94 (3 年)	国語 → 0.89 (3 年)																																																																																											
	0.91 (2 年)	0.95 (2 年)	→ 0.91 (2 年)	→ 0.96 (2 年)																																																																																											
	0.95 (1 年)	0.91 (1 年)	→ 0.93 (1 年)	→ 0.84 (1 年)																																																																																											
数学	0.95 (3 年)	数学 1.00 (3 年)	数学 → 0.96 (3 年)	数学 → 0.90 (3 年)																																																																																											
	1.03 (2 年)	0.95 (2 年)	→ 0.83 (2 年)	→ 0.93 (2 年)																																																																																											
	0.97 (1 年)	0.92 (1 年)	→ 0.93 (1 年)	→ 0.87 (1 年)																																																																																											
英語	0.94 (3 年)	英語 0.95 (3 年)	英語 → 0.92 (3 年)	英語 → 0.92 (3 年)																																																																																											
	0.99 (2 年)	0.91 (2 年)	→ 0.93 (2 年)	→ 0.93 (2 年)																																																																																											
	0.92 (1 年)	0.95 (1 年)	→ 0.90 (1 年)	→ 0.88 (1 年)																																																																																											
令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年																																																																																												
52.5	51.9	41.6	50.0																																																																																												
令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年																																																																																												
37.4	38.2	44.3	52.1																																																																																												
令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年																																																																																												
男子 1.12	男子 0.87	男子 0.92	男子 0.92																																																																																												
女子 1.06	女子 0.90	女子 0.90	女子 0.99																																																																																												
令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年																																																																																												
55.6	56.0	59.4	57.8																																																																																												
令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年																																																																																												
朝食 : 91.2 (3 年)	朝食 : 89.5 (3 年)	朝食 : 90.1	朝食 : 88.9																																																																																												
起床 : 89.4	起床 : 90.7	就寝・起床 : 87.1	就寝・起床 : 85.6																																																																																												

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>前年度チャレンジテストの平均正答率3割以下の生徒について、誤答の多かった問題を精査し、その改善を図るため定期的に家庭学習課題を設定する。また、国語、数学、英語の3教科においては習熟度別授業を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の2割以上で小テストを実施する。 ・基礎学力向上のために月に2回以上の家庭学習習慣、読解力向上のために朝読書の時間を週3日設定する。 ・学びサポーターと協力し、放課後学習会を週2回実施、休業中は補充学習会を実施する。 ・各教科で効果的なタブレットの活用を模索し、教科会で効果検証を行い、教員の授業力向上を図る。 	B
<p>取組内容②【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>『英検』という資格があること、受験することを促す。放課後学習会で英検対策授業を実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びサポーターと協力し、放課後学習会で英検対策を実施する。 ・英検の準会場実施を検討する。 	B
<p>取組内容③【施策5 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業で自分の考えを深めたり、広めたりする力をつけるために、生徒間の対話による学びを推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全クラス、毎月の専門委員会に向けて学級討議の時間を設け、学級で話し合い活動を行う。 ・すべての教科で、自身の考えを発表できる活動や時間を確保し、相手の意見を聞き、自分の考えを深め、伝える力を伸ばす。 	B
<p>取組内容④【施策5 健やかな体の育成】</p> <p>生徒の実態に合わせ補強運動の種類を合わせ運動量を確保できるような授業内容を工夫し体力向上につなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>全国体力・運動能力・運動習慣の調査で8種目うち4種目が全国平均より上回る。</p>	B
<p>取組内容⑤【施策5 健やかな体の育成】</p> <p>体育の授業においてICT機器を使用することによって技能の向上を図る。また、グループ活動を通して生徒間の肯定的なコミュニケーションの場を増やす。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を学期に1回使用する。 ・グループ活動を各单元ごとに1回以上行う。 	B
<p>取組内容⑥【施策5 健やかな体の育成】</p> <p>健やかな体の育成に必要な運動、睡眠、食事の大切さを保健の授業や委員会活動を通して推進し、家庭での基本的な生活習慣の定着を図るため、家庭との連携を密にとる。</p>	B

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業で、健康についての単元後にワークシートで自身の基本的な生活習慣を振り返り、考えさせる。 ・食育通信を毎月発行する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取り組み内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストの実施は教科によって2割を超えていないが、家庭学習・朝読書の取り組みについては計画通り遂行した。 ・学びサポーターと連携し、放課後学習会の開催日カレンダーを教室に掲示し、参加を促した。また、夏休みに3教科の補習をおこなった。 ・研究授業後の教科会にて、ICTを活用した授業の実践を報告し合った。 <p>取り組み内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、学びサポーターと連携し、英検対策問題に取り組んでいる。また、英検の準会場に関して、現在検討中である。 ・体育の授業で行われる対抗戦の作戦会議や運動が苦手な子に対して、得意な子がアドバイスや見本を見せることでコミュニケーションを図っている。 ・保健の授業でICTを活用している。 ・保健の授業の振り返りを単元ごとには行えていないが学期ごとには行っている。 <p>取り組み内容③</p> <p>学級討議の時間の確保ができていない学年もあるができていない学年もある。また自分の考えを伝える活動時間の確保もできていない教科もあるができていない教科もある。全学年、各教科で共通した取り組みを実施していきたい。</p> <p>取り組み内容④</p> <p>全国体力・運動能力・運動習慣の結果は男子が1種目、女子は4種目全国平均を上回ることができた。</p> <p>取り組み内容⑤</p> <p>体育の授業において、ICT機器を学期に1回使用・グループ活動を各単元ごとに1回以上行うことができています。</p> <p>取り組み内容⑥</p> <p>保健体育の授業で、健康についての単元後にワークシートで自身の基本的な生活習慣を振り返り、考えさせることができているので引き続き行っていきたい。食育通信を毎月発行できている。</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>取り組み内容①授業に関しては、どの授業もICT機器の活用や対話による学びを意識した授業を展開した。小テストについては、中間反省と同じく教科によって2割を超えることがなかったため、授業の進め方を含め、取り組み内容を精査する必要がある。読書については、学年間で取り組みに差があるため、次年度に向けて精査する必要がある。</p> <p>取り組み内容②各学年、学びサポーターと連携し、英検対策問題に取り組んでいる。また、英検の準会場に関して、現在検討中である。</p> <p>取り組み内容③行事等の取り組みに時間が割かれることが多かったものの、学級討議の時間を確保し、自身のクラスの状況を振り返り、現状の課題や来月への修正点・改善点を上げる取り組みは、より良いクラス作りを目指す自主的な観点から有効だと思われる。次年度は、学級討議が子どもたちにとって、学校全体にとって重要な取り組みであることを理解し、実施していきたい。また、自分の考えを伝える活動方法を教科の枠を超え、多くの先生方と考えることにより、教科担当だけでは考えつかなかった案を模索することができるように思う。</p> <p>取り組み内容④全国平均を上回るために、毎時間の運動量を増やしていく必要がある。ランニング、補強運動などの回数を増やすなどしていき、基礎体力を高めると同時に全国体力測定の種類目の練習時間も確保してから計測をする。</p> <p>取り組み内容⑤体育の授業において、引き続きICT機器を学期に1回使用・グループ活動を単元ごとに1回以上を実施す</p>	

る。また、ICT 活用については保健の授業の調べ学習以外に体育実技のなかで自身の動きを撮影し、動きの確認や改善に活用していく。

取り組み内容⑥保健体育の授業で、健康についての単元後にワークシートで自身の基本的な生活習慣を振り返り、考えさせることができているので引き続き行う。栄養教諭と連携し、食育通信の毎月発行を継続する。

大阪市立平野中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況																																
<p>【学びを支える教育環境の充実】 ①～③は全市共通目標より選択 ④は学校独自目標</p> <p>①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間授業日→50%以上にする</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>令和4年</td> <td>令和5年</td> <td>令和6年</td> <td>令和7年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">34.2</td> <td style="text-align: center;">25.5(1月末)</td> </tr> </table> <div style="margin-left: 100px; border: 1px solid black; padding: 2px;">(R6 大阪市実績値 14.4%)</div> <p>②教員の勤務時間の上限</p> <p>基準1 1か月の時間外勤務時間が45時間以下で、1年間の時間外勤務時間が360時間以下)の教職員の割合→40%以上にする</p> <p>基準2 時間外勤務が①1か月45時間を超える月が1年間に6か月以下、②1年間720時間以下、③1か月100時間以下、④連続する複数2～6か月の時間外勤務平均が80時間以下の教職員の割合→65%以上にする</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>令和4年</td> <td>令和5年</td> <td>令和6年</td> <td>令和7年(1月末)</td> </tr> <tr> <td>基準1: 33.33 基準2: 58.97</td> <td>基準1: 36.84 基準2: 63.16</td> <td>基準1: 29.73 基準2: 64.86</td> <td>基準1: 23.53 基準2: 55.88</td> </tr> </table> <p>③年度末の校内調査における、「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える生徒の割合→70%以上にする</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>令和4年</td> <td>令和5年</td> <td>令和6年</td> <td>令和7年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">70.4</td> <td style="text-align: center;">69.8</td> <td style="text-align: center;">66.1</td> <td style="text-align: center;">65.6</td> </tr> </table> <div style="margin-left: 100px; border: 1px solid black; padding: 2px;">(R6 大阪市実績値 69.5%)</div> <p>④年度末の保護者アンケートにおける「学校の様子をよく知ることができる」の項目について、肯定的に回答した保護者の割合→89%以上にする</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>令和4年</td> <td>令和5年</td> <td>令和6年</td> <td>令和7年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">87.6</td> <td style="text-align: center;">90.6</td> <td style="text-align: center;">89.9</td> <td style="text-align: center;">91.3</td> </tr> </table>	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	—	—	34.2	25.5(1月末)	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年(1月末)	基準1: 33.33 基準2: 58.97	基準1: 36.84 基準2: 63.16	基準1: 29.73 基準2: 64.86	基準1: 23.53 基準2: 55.88	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	70.4	69.8	66.1	65.6	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	87.6	90.6	89.9	91.3	B
令和4年	令和5年	令和6年	令和7年																														
—	—	34.2	25.5(1月末)																														
令和4年	令和5年	令和6年	令和7年(1月末)																														
基準1: 33.33 基準2: 58.97	基準1: 36.84 基準2: 63.16	基準1: 29.73 基準2: 64.86	基準1: 23.53 基準2: 55.88																														
令和4年	令和5年	令和6年	令和7年																														
70.4	69.8	66.1	65.6																														
令和4年	令和5年	令和6年	令和7年																														
87.6	90.6	89.9	91.3																														
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況																																
<p>取組内容①【施策6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>日常的に学習者用端末を活用することで生徒の心の変化を可視化し、教育相談に活かす。また、学習活動においても端末を使い校内、校外で活用する場面を増やし、端末の機能を効果的に活用する。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールライフノートの「心とからだの天気」に毎日生徒自身が心の状態を入力する。 ・「いじめアンケート」、「学校教育アンケート」、「習熟度アンケート」等の各種調査の際に学習者端末を活用する。 ・小テストや単元テスト等で、GoogleフォームやMicrosoft Formsの活用を推進する。 ・日々の課題においてデジタルドリルを活用し、個に応じた学びの機会を保障する。 	B																																
取組内容②【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】	B																																

<p>教員の長時間勤務の解消を通じ、教員一人一人が仕事と生活の調和の実現ができる環境を整える。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員等の会計年度職員を積極的に雇用し、部活動に起因した長時間勤務となっている顧問教員の負担軽減を図る。 ・校務支援システム等の ICT を活用し、各種調査やデータの分析にかかる時間短縮や SKIP の校内掲示板を活用し、会議時間の短縮と会議の精選を図る。 ・定期テストや実力テスト等において、AI 採点システムを活用し、テストの採点時間の短縮を図る。 	
<p>取組内容③【施策 8 生涯学習の支援】</p> <p>生徒の興味・関心に合わせた本を精選して購入し、学校図書館を活性化させる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週 3 日の朝読書の時間を確保する。 ・文化委員を使い朝読書の推進活動を行い、図書室の新書を学年フロアに展開する。 ・平野区役所が推進する「ひらちゃんノート」の提出を 20 冊以上にするため、毎月の委員会活動後、文化委員が取り組みの啓発と点検を行う。 	B
<p>取組内容④【施策 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>PTA 役員会や校区の地域活動協議会等で、学校の教育活動や生徒の様子について情報を共有し、学校・地域・保護者の連携による取組を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会の定例会で、教育活動や生徒の様子について報告する。 ・学校及び学年行事について、ホームページや学校だよりを通して周知する。 ・地域の防災リーダーや PTA 実行委員と連携した教育活動を年 2 回以上実施する。 	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取り組み内容①に関して、心と体の天気は毎日入力は促しているもののクラスでも入力のばらつきがあるため、今後は全クラスで入力の徹底をしいていく。いじめアンケートや学校生活アンケートについて、タブレットを活用し、集計時間の削減を行っている。各教科でデジタルドリルの活用が進んでいる。</p> <p>取り組み内容②について、部活動指導員等の会計年度職員を積極的に雇用しているものの、教員が帯同しなければならない場合もある。一方、技術指導等の面での負担軽減にはつながっている。校務支援システム等の ICT を活用し、各種調査やデータの分析にかかる時間短縮や SKIP の校内掲示板を活用し、会議時間の短縮に図ることができている。また、職員会議でも、紙媒体からデータでの情報共有を行うことにより、印刷等にかかる時間軽減を行っている。各テストにおいて、AI 採点システムを活用し、テストの採点時間の短縮に繋がっている。</p> <p>取り組み内容③について、朝読書の週 3 回の時間を確保している。当初の予定では、学年フロアに新書を展開する予定であったが、長寿命化工事による教室の移動があるため、設置が非常に難しい状況となっている。そのため、生徒一人ひとりが本を持参するように呼びかけており、朝読書の時間や休み時間などに読む生徒も多くみられる。学年によるがひらちゃんノートも定期的に回収し、生徒の読書状況を把握している。その中で、表彰の基準に達成した生徒も既にいる。記入していない生徒もいるので、文化委員より啓発活動を活発に行い、記入を促す。</p> <p>取り組み内容④について、地域活動協議会の定例会で、教育活動や生徒の様子について報告することは行えている。また学校及び学年行事について、ホームページや学校だよりを通して周知している。地域の防災リーダーや PTA 実行委員と連携した教育活動は図ることはできている。</p>	

次年度への改善点

取り組み内容①について、心の天気は1・2年生は概ね入力率が高いものの、3年生は入力率が低い。それを踏まえて、定期的に全校集会等での呼びかけが必要であると感じる。担任の先生を中心に細かな点検を続けたことで、雨・雷マークの早期発見と解決に努めることができた。毎月の学校生活アンケートでは集計時間を削減できたことで生徒対応への時間を確保することができた。来年度以降も継続して行っていきたい。

取り組み内容②について、部活動指導員等の会計年度職員を積極的に雇用しているものの、教員が帯同しなければならない場合もある。一方、技術指導等の面での負担軽減にはつながっている。校務支援システム等のICTを活用し、各種調査やデータの分析にかかる時間短縮やSKIPの校内掲示板を活用し、会議時間の短縮に図り、紙媒体からデータでの情報共有を行うことにより、印刷等にかかる時間軽減を行っている。各テストにおいて、AI採点システムを活用し、テストの採点時間の短縮に繋がっている。

取り組み内容③について、読書の時間については全学年とも確保できたが、ひらちゃんノートの回収にはクラスでばらつきがあり、学校としても15名となっていた。点検しているのは文化委員ではなく教員のため、毎月の文化委員会で読書活動への呼びかけや点検方法を見直す必要がある。長寿命化工事の関係により、学年フロアへの新書の展開をすることができなかった。同様に図書館開放もできなかったため、来年度は文化委員を使って本の推進やひらちゃんノートの活用方法などを計画立てて実施していきたい。

取り組み内容④について、地域活動協議会の定例会で、教育活動や生徒の様子について報告できており、学校及び学年行事について、ホームページや学校だよりを通して周知することができた。また地域の防災リーダーやPTA実行委員と連携した教育活動を年2回以上実施することもできた。